



## 消防分野の国際協力の推進

### 参事官

消防庁では、災害から国民の生命、身体及び財産を守るという万国共通の課題に対応するため、消防機関、外務省、独立行政法人国際協力機構（JICA）等と連携・協力しつつ、消防分野の国際協力を次のとおり実施しています。

- 国際緊急援助活動：国際消防救助隊（IRT）による援助活動
- 開発途上諸国への技術協力：研修員受け入れ（消防本部等との共同研修の実施）、専門家派遣等
- 国際交流：国際消防防災フォーラム、海外の消防関係者との交流、国際会議・国際消防組織への参画等
- 消防科学技術の研究：国際共同研究、外国研究者の受け入れ、国際研究会議への参画

このうち主なものは、以下のとおりです。

#### 【国際緊急援助活動】

国際消防救助隊（IRT）は、海外での大規模災害発生時に派遣される国際緊急援助隊救助チームの一員として、昭和61年の発隊以来今日までに計18回の派遣実績があります。

消防庁では、今後の派遣に備えるため、国際緊急援助隊救助チームの一員となりうる消防本部の救助隊員を対象として、国際緊急援助隊の体制や派遣に関する知識の習得を目指す研修を実施しており、海外の被災地での救助活動において必要とされる知識、技術（手法）の共有及びチームビルディング（連携）の向上を図っています。

#### 【開発途上国への技術協力】

海外からの研修生の受け入れとして、消防庁では消防本部の協力のもとで「救急救助技術」研修及び「消防・

防災」研修（平成25年度までは「消火技術」研修として実施）の2コースの課題別研修を行っています。「救急救助技術」研修は大阪市消防局において昭和62年から実施しており、これまでに242名の研修生を受け入れています。また、「消防・防災」研修は北九州市消防局において昭和63年から実施しており、これまでに239名の研修生を受け入れています。

各コースの研修生は、研修を通じて身につけた日本の消防に関する知識や技術を自国の消防防災能力の向上に大いに役立てています。

課題別研修のほかにも消防庁では、開発途上諸国からの要請に基づいて行う国別研修を実施しています。

平成24年度から平成26年度まで、イラン・イスラム共和国に対して「消防運用体制」研修を実施しており、3年目となる今年度は、東京消防庁、神戸市消防局の協力のもとでコミュニティ防災、消防職員の人材育成等をテーマに研修を実施します。

また、平成26年度から平成28年度までマレーシア国に対して、「消防行政能力向上」研修を実施しており、平成26年度は千葉市消防局、松戸市消防局、東京消防庁の協力のもとで消防職・団員の教育訓練、通信指令業務等について研修を実施しています。

消防分野の国際協力は、消防本部においても積極的に行われています。

平成25年度から平成27年度まで、札幌市消防局では、モンゴル国ウランバートル市の消防技術の向上と教育体制充実のため「ウランバートル消防技術支援事業」が、北九州市消防局では、「インドネシア・バリクパパン市における泥炭・森林火災の消火技術普及モデル事業」として、民間事業者等と連携して泡消火薬剤を活用した消火技術の支援が行われています。



### 【国際交流】

国際交流事業として、アジア諸国における消防防災能力の向上や国際的なパートナーシップの向上を図るため、海外において「国際消防防災フォーラム」を毎年開催しています。第8回目となる本年度は、9月にカンボジア王国プノンペン市において、消防力の強化、職員の人材育成や火災予防制度等を主な発表テーマとして開催しました。

経済成長とともに都市部の人口急増が進み、火災や自然災害によるリスクが増大している新興国等では、消防の果たすべき役割が高まっており、我が国の消防の経験、知見、技術等を積極的に学び、取り入れたいというニーズも拡大する傾向が見られます。

国際協力を積極的かつ継続的に実施するためには、消防機関をはじめ、関係機関のより一層の連携が不可欠であり、関係者の皆様におかれましては、消防の国際協力に関するご理解とご協力を引き続きお願いいたします。



国際消防防災フォーラム  
(平成26年9月)



救急救助技術研修（大阪市消防局）  
(平成26年10月)



消防・防災研修（北九州市消防局）  
(平成26年10月)

#### 問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部参事官付 下村  
TEL: 03-5253-7507